

## ■ 編集後記 ■

・『翻訳研究への招待 3』をお届けします。今回は学会誌『通訳翻訳研究』8号の編集作業と重なり、発行がひと月ほど遅れてしまいました。皆様にはお詫び申し上げます。

・この3号には別宮貞徳先生のインタビューを掲載することができました。編集担当者としては望外の喜びです。このインタビューによって、翻訳批評で一世を風靡した別宮先生の近況を伺うことができます。企画、セッティングをしてくださった皆さん、ありがとうございました。

・3号にはこのほか8編の力作論文と書評を収録しています。各論文の特徴としては、まず長沼論文、河原論文はそれぞれ選択体系機能文法の文法的比喩と認知言語学の事態構成の視点から翻訳における言語的自然さ、言語類型論の課題に取り組んでいます。香取論文もまた、結束性と事態構成という視点から同じような問題にアプローチしていると言えます。日本語の翻訳語 *translationese* に記述的翻訳研究から新しい光を当てた Meldrum 論文の課題も、長沼論文と河原論文の関心と一部重なっています。牛江・西尾論文と稲生論文は字幕翻訳を扱っています。前者は字幕翻訳におけるポライトネスという斬新な視角を提起しており、後者は広く映像翻訳の教育の中で無視されがちな受講者の視点を明らかにしています。齋藤論文はヴェヌティ、シュライアーマハー、ベルマンの「異質化」という翻訳方略の意義に切り込む内容で、「異なるもの」を目標言語にもたらずという意味では、やはり長沼論文や河原論文、Meldrum 論文に呼応する点があります。山田論文は日本では唯一、実務翻訳とテクノロジーの側面を理論的に考察するものです。

・なお、学会誌『通訳翻訳研究』（『通訳研究』を改称）8号（2009年1月発行）には以下のように6編の翻訳研究論文と大学・大学院における翻訳教育調査報告+関連論文2編が掲載されています。関心のあるかたはご一読下さい。

三ツ木道夫「翻訳思想のドイツ的伝統とその変容：ゲオルゲ・クライスの翻訳論」

齊藤美野「森田思軒と文学翻訳：起点テキストの「姿」を再現すること」

山田 優「翻訳メモリ使用時の既存訳が新規訳に及ぼす影響～干渉と翻訳の普遍的特性の観点から」

石原知英「学習者の内観による文学テキスト翻訳プロセスの記述：英語教育への示唆として」

加藤久佳「仏英日間翻訳における『視点』の考察：L'empreinte de L'ange を題材に」

金 漢植「新聞記事の「動詞」の韓-日翻訳戦略：リーダービリティを重視した翻訳教育の観点から」

[調査報告]「わが国の大学・大学院における翻訳教育の実態調査概要」（翻訳研究分科会翻訳教育調査プロジェクト・チーム）

長沼美香子「アンケートにみる日本の大学翻訳教育の現状」

茨田英智「シラバスにみる日本の大学翻訳教育の現状：「シラバス・データベース」の構築と分析」

・2号が発行されてから現在までの間に、日本の翻訳研究者にとって大きな財産となる2冊の本が刊行され

ています。いずれも翻訳研究者必携の書です。

アントワーヌ・ベルマン(藤田省一訳)『他者という試練:ロマン主義ドイツの文化と翻訳』(みすず書房)  
三ツ木道夫(編訳)『思想としての翻訳:ゲーテからベンヤミン、ブロッホまで』(白水社)

・さて、以下にとりあえず投稿規定を掲げておきますが、『翻訳研究への招待』4号がこれまでと同じような形で発行されるかどうかは未定です。というのも、昨年9月の日本通訳学会の年次総会で学会名が「日本通訳翻訳学会」と改称され、規約第2条(目的)も「本会は、通訳、翻訳の理論と実践および教育に関する科学的・多面的研究を促進するとともに、この分野の社会的理解の増進に寄与することを目的とする」と改正されたため、学会誌との関係を再考する必要があるからです。どういう形態になるかは今後の翻訳研究分科会で検討され、学会のウェブサイトでお知らせすることになります。

(水野 的)

### ■ 投稿規定 (仮) ■

・投稿規定は当面、学会誌『通訳翻訳研究』に準じます。ただし、『翻訳研究への招待』には通訳研究プロパーの論文は投稿できません。査読も行います。規定の詳しい内容については以下をごらん下さい。なお投稿の締め切りは2009年11月30日とします。

<http://www.someya-net.com/10-JAIS/toukou-kitei.html>

・投稿資格は原則として日本通訳翻訳学会会員に限り、ます。ただし入会申請をすればその時点で投稿資格ができます。入会申請の方法については以下をごらん下さい。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jais/html/nyukai/html/admission.html>

・翻訳研究分科会の活動を含む日本通訳翻訳学会の日常的活動・催しについては以下のサイトをごらん下さい。

<http://blog.so-net.ne.jp/a-mizuno/>

・問い合わせ先・投稿先:お問い合わせと投稿は電子メールでお願いします。

e-mail: [a-mizuno@fa2.so-net.ne.jp](mailto:a-mizuno@fa2.so-net.ne.jp)

日本通訳翻訳学会翻訳研究分科会・担当理事 水野 的

### ■ 「翻訳研究への招待」バックナンバーのお知らせ ■

・『翻訳研究への招待』1号と2号の残部があります(1号は残部僅少)。1号は1,000円、2号は1,500円(日本通訳翻訳学会の会員にはそれぞれ800円、1,000円)で頒布していますので、ご希望の方は上記連絡先までお問い合わせ下さい。